

HISTORY IN JAPAN

● 1867

国立パリ割引銀行 Comptoir National d'Escompte de Paris (CNEP)、横浜港に代理店開設

● 1893

閉鎖、再開を経て、横浜の代理店を完全閉鎖

● 1907

パリ・オランダ銀行 (後のパリバ銀行)、日本政府による欧州市場での外債発行に参画
パリ・オランダ銀行頭取ウジェーヌ・グアング、当時の副頭取オラス・フィナリに、日本進出にあたり必要な関係を構築するための調査を依頼

● 1924

1921年から1927年まで駐日フランス大使を務めたポール・クローデルが、当時のパリ・オランダ銀行頭取オラス・フィナリに日本の地政学的・経済的状況の分析を提案

● 1968

パリ国立銀行 (BNP)、東京駐在員事務所開設

● 1973

パリ国立銀行 (BNP)、東京支店として営業開始
Compagnie Financière de Paris et des Pays-Bas (後のパリバ銀行)、欧州企業として初めて東京証券取引所に上場

● 1979

パリバ銀行、オリエント・リースの株式 3%を取得する契約締結

● 1984

パリ国立銀行 (BNP)、バランスシートで第3位、顧客貸出残高で第7位にランキング (77の外資系銀行内)

● 1987

パリバ証券会社 (香港法人)、東京支店開設

● 1989

パリ国立銀行 (BNP)、バランスシートと営業決算で第1位 (77の外資系銀行内)

● 1994

パリバ銀行、アジア全域の特別米財務省長期証券のライセンスを取得し「プライマリーディーラー」の地位を獲得

● 1998

ビー・エヌ・ピー投信株式会社設立

● 2000

パリ国立銀行 (BNP) とパリバが合併、BNP/パリバが誕生
在日拠点は、ビー・エヌ・ピー・パリバ銀行 東京支店、BNP パリバ証券会社東京支店、ビー・エヌ・ピー・パリバアセットマネジメント株式会社へそれぞれ名称変更

● 2010

フォルティスの統合に伴い、ビー・エヌ・ピー・パリバアセットマネジメント株式会社とフォルティスアセットマネジメント株式会社が合併、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社と名称変更

● 2011

香港法人 BNP パリバ証券東京支店が日本法人化、BNP パリバ証券株式会社として営業開始

● 2016

BNP パリバ、車いすテニスワールドチームカップを協賛

● 2017

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社、BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社に社名を変更
BNP パリバ、全国選抜高校テニス大会のプラチナパートナーとして協賛開始

● 2018

フランス法人 カーティフ生命 / カーティフ損保の各日本支店が日本法人化、カーティフ生命保険株式会社、カーティフ損害保険株式会社として営業開始

● 2019

BNP パリバ、Asia Risk Awards 2019 「Derivatives house of the year Japan」を受賞

● 2021

BNP パリバ・アセットマネジメント、第2回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」投資家部門 環境大臣賞(金賞)受賞

● 2022

カーティフ生命、Insurance Asia Awards 2022 「Insurance Initiative of the Year - Japan」を受賞

● 2024

カーティフ損保、Insurance Asia Awards 2024 「Insurance Inclusion Initiative of the Year - Japan」を受賞



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world